

臨床疑問一覧

番号	臨床疑問	推奨	推奨の強さとエビデンスの確実性	頁
1-1	安静時低酸素血症があり呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して、酸素吸入を行うことは呼吸困難の緩和に有用か？	安静時低酸素血症があり呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して、酸素吸入を行うことを提案する。	2C	97
1-2	安静時低酸素血症がない、または軽度にとどまるが呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して、酸素吸入を行うことは呼吸困難の緩和に有用か？	a. 安静時低酸素血症がない、または軽度にとどまる進行性疾患患者において、労作により生じる呼吸困難に対して、労作時に酸素吸入を行うことを提案する。	2B	101
		b. 安静時低酸素血症がない、または軽度にとどまる進行性疾患患者において、労作により生じる呼吸困難に対して、労作前または後の一時的な酸素吸入（いわゆる short-burst oxygen）は行わないことを提案する。	2B	
		c. 安静時低酸素血症がない、または軽度にとどまる進行性疾患患者の呼吸困難に対して、安静時および睡眠時の酸素吸入は行わないことを提案する。	2B	
		d. 安静時低酸素血症がない、または軽度にとどまる進行性疾患患者の呼吸困難に対して、呼吸リハビリテーションにおいて負荷を上げるための酸素吸入は行わないことを提案する。	2B	
2	低酸素血症があり呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して、高流量鼻カニューラ酸素療法（high flow nasal cannula oxygen；HFNC）を行うことは呼吸困難の緩和に有用か？	低酸素血症があり呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して、通常の酸素療法で改善が得られない場合に、高流量鼻カニューラ酸素療法（HFNC）を行うことを提案する。	2C	122
3	呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して、送風療法（顔への送風）を行うことは有用か？	呼吸困難を有する進行性疾患患者に対して、送風療法を行うことを推奨する。	1B	126
4-1	呼吸困難を有するがん患者に対して、モルヒネ全身投与は有用か？	がん患者の呼吸困難に対して、モルヒネ全身投与を行うことを推奨する。	1B	131
4-2	呼吸困難を有するがん患者に対して、オキシコドン全身投与は有用か？	がん患者の呼吸困難に対して、オキシコドン全身投与を行うことを提案する。	2C	136
4-3	呼吸困難を有するがん患者に対して、ヒドロモルフォン全身投与は有用か？	がん患者の呼吸困難に対するヒドロモルフォン全身投与に関しては明確な推奨ができない。	-C	138
4-4	呼吸困難を有するがん患者に対して、フェンタニル全身投与は有用か？	がん患者の呼吸困難に対して、フェンタニル全身投与を行わないことを提案する。	2C	140
4-5	呼吸困難を有するがん患者に対して、モルヒネ吸入は有用か？	がん患者の呼吸困難に対して、モルヒネ吸入を行わないことを提案する。	2C	144
5-1	呼吸困難を有するがん患者に対して、ベンゾジアゼピン系薬の単独投与は有用か？	がん患者の呼吸困難に対して、ベンゾジアゼピン系薬の単独投与を行わないことを提案する。	2C	146
5-2	呼吸困難を有するがん患者に対して、ベンゾジアゼピン系薬をオピオイドに併用することは有用か？	がん患者の呼吸困難に対して、ベンゾジアゼピン系薬をオピオイドに併用することを提案する。	2C	149
6-1	呼吸困難を有するがん患者に対して、コルチコステロイドの全身投与は有用か？	肺病変（肺転移やがん性リンパ管症などの肺実質病変）があるがん患者の呼吸困難に限定して、コルチコステロイドの全身投与を行うことを提案する。	2C	152
6-2	がん性リンパ管症による呼吸困難を有するがん患者に対して、コルチコステロイドの全身投与は有用か？	がん性リンパ管症による呼吸困難を有するがん患者に対して、コルチコステロイドの全身投与を行うことを提案する。	2D	155
6-3	上大静脈症候群による呼吸困難を有するがん患者に対して、コルチコステロイドの全身投与は有用か？	上大静脈症候群による呼吸困難を有するがん患者に対して、コルチコステロイドの全身投与を行うことを提案する。	2D	157
6-4	主要気道閉塞（major airway obstruction；MAO）による呼吸困難を有するがん患者に対して、コルチコステロイドの全身投与は有用か？	主要気道閉塞（MAO）による呼吸困難を有するがん患者に対して、コルチコステロイドの全身投与を行うことを提案する。	2D	159